

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表【令和4年度 サンサン・キッズ】

	チェック項目	回答割合			改善目標、工夫している点など
		0%	50%	100%	
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか				・定員数に対しては適切である。 ・カーテンや個室を使い、個別対応にあっている。
	2 職員の配置数は適切であるか				・規定に対しては適切であるが、障害特性に合った支援ができるよう改善していきたい。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか				・車イスで出入りしやすいよう、簡易スロープもある。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか				
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか				
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか				・ホームページや事業所内に掲示し、公開している。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか				
適切な支援の提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか				・年2回内部研修があり、年1回事業所見学を行っている。 ・他に個別で研修を受けている。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか				・保護者の面談、アセスメントを行い、事業所内で個別支援会議をした上で、サービス計画は作成している。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか				
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか				・必ず活動目標を立て、スタッフ会議で話し合い、活動計画を立案している。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか				・同じイベントでも内容や子どもたちの状況に合ったプログラムにしている。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか				・季節の行事を中心に活動内容を設定し、個々の状況に合わせた支援ができるよう配慮している。
適切な支援の提供	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか				・個々の状況に応じて制作や遊び等個別活動を行ない、体操タイム、帰りの会等の集団活動を行っている。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか				・支援開始前に必ず打ち合せは行ない、支援内容や子どもの状況等について確認している。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか				・時間的に遅くなるため、特に振り返りが必要な場合は話し合うが、次回の打ち合わせで全員が周知できる様努めている。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか				・必ずケース記録はとっている。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか				・6か月に一度は必ず行っている。
その他	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか				・ガイドラインに沿った基本活動は行なっている。
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか				
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか				・学校からの情報はホームページで確認している。年1回連絡会も開かれている。わからない事は電話で確認している。

■はい ■どちらともいえない ■いいえ

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				・現在医療的ケアが必要なお子さまは受け入れていないが、受け入れる際は体制を整える。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	■	■	■	・必要な時は連絡を取り、相互理解に努めている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	■			・必要な時は連絡を取り、相互理解に努めている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	■			・専門機関の研修は必ず受けている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	■	■		・これから交流する機会があれば検討していきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	■			・毎回必ず参加し、地域の他事業所との交流に努めている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	■	■		・送迎時や連絡ノート等で子どもの様子を伝えている。年2回モニタリングの機会もあり、共通理解に努めている。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	■	■		
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	■			・契約時に必ず丁寧に説明をしている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	■			・相談があった時は応じている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	■	■		・コロナ禍でこの3年はお茶会は行っていない。 ・社会状況に応じて開催していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	■	■		・すみやかに対応できるよう心掛けている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	■			・毎月1回おたよりを出し、事業所の情報を発信している。
	35	個人情報に十分注意しているか	■			・個人情報取り扱い同意書を得ている。 ・写真や作品の公表の際には、必ず保護者の同意を確認している。 ・個人名や写真等の書類は、必ずシュレッダーを利用して処分している。
非常時等の対応	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	■			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	■	■	■	・広報誌を出したり、公共施設内に子供たちの作品を展示したりしている。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	■			・それぞれのマニュアルは策定してある。年に1回、また、必要な時に配布をし、周知に努めている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	■			・毎月1回(地震・火災)、年1回(水害)の訓練を行なっている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	■			・昨年度は内部研修で2回行った。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	■	■		・保護者に丁寧に説明をし、了解を得てからサービス支援計画に記載している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	■			・保護者を通じ、医師からの指示書に基づき対応している。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	■			・危険だったと思われる事例については、ヒヤリハットの事例として書類を作成し、話し合いを行なっている。	